



2 年生で行った「SGH オリエンテーション」と、「グループ別課題設定に向けて」に関する授業の報告です。

◇ SGHオリエンテーション（4月17日）の様子

本年度 SGH 活動の年間の流れについて、研究推進部の木野村教諭による対話型英語オリエンテーションを行いました。その際に、1 年生の『コミュニケーション英語』の授業で学んだ、「教育の平等性” Educational Equity”」について、マララさんの事例を通して問題提示を行い、今後どのような見通しをもって活動を進めていったらよいかについて、概要をつかむことができました。

本年度の SGH 2 年生テーマは、国連の定めた SDGs に沿ったものの中から一つを選び、グループごとに一つのグローバルイシューについて研究を進めていきます。「日本人として、自分とは何者であるのか。そして、自分には一体何ができるのか。」という事を、問いかけ続ける SGH 活動にしていきたいと考えています。



◇ グループ別課題設定に向けて（5月1日）の様子

5 月 1 日 (火) の 7 時間目は、新グループによる初顔合わせでした。自分の興味に基づいて、各クラスとも 7 つほどのグループに分かれ、テーマについての共通理解を図るために、ブレインストーミングを行ったり、コンセプトマップ（テーマに関わる概念図）を作成したりしました。

自分の考えを伝え、班で一つの方向性を導き出す活動には、自己のコミュニケーション能力が問われます。しかし、こういった関わり合いの活動を繰り返し行うことで、はじめはうまくいかなかったことから学び、次の活動につなげる経験学習 (Experiential Learning) となっていくでしょう。SGH は失敗から多くを学ぶことのできる活動とも言えるのです。

